

平成 27 年度 公立豊岡病院組合改革プラン

目標達成のための具体的な取り組みの進捗状況

平成 28 年 11 月

公立豊岡病院組合

平成 27 年度 公立豊岡病院組合改革プラン 目標達成のための具体的な取り組みの進捗状況

I 医師確保対策		IV 経営意識向上対策	
①医師修学資金貸与医学生の確保・定着促進	1	①経営意識向上を目的としたセミナー等の開催	9
②医師のキャリアアップ支援	1	②経営状況の「見える化」と職員間の更なる情報共有	9
③医師の業務軽減	2	③B S Cを活用した経営意識の向上	9
④業績に対する評価・報奨	2	V 収入向上対策	
⑤テレビ会議システム等を活用した教育支援	2	①7対1入院基本料の取得（豊岡病院）	10
⑥地域医療研修の受け入れ	3	②新たな施設基準の取得	10
⑦その他（プランに記載のない取り組み）	3	③D P C機能評価係数IIの向上	10
II 看護師確保対策		④未収金の発生率の抑制及び未収金の回収率の向上	11
①奨学金貸与学生の確保	4	⑤遊休不動産の売却	12
②院内保育所整備による離職防止と育休からの職場復帰支援	4	⑥目的外使用許可制度の活用による収益確保	12
③テレビ会議システム等を活用した教育支援	4	VI 経費削減対策	
④養成校訪問・広報などを活用した確保対策強化	4	①委託内容の見直しと業務委託の推進	13
⑤出前講座などを活用した進学対策支援	5	②同種同効品への切り替え等による経費削減	13
⑥看護師の業務軽減	5	③委託化等の推進による適正な人員配置	13
⑦その他（プランに記載のない取り組み）	5	④後発薬品の使用率の向上促進	13
III 医療機能向上対策		⑤その他（プランに記載のない取り組み）	13
①病診連携・病病連携の強化促進	6	VII 広報及び連携対策	
②7対1看護の効率的な運営推進	6	①ホームページの充実	14
③D P Cの効率的運用	6	②「ほすびたる」による積極的な情報提供	14
④クリニカルパスの推進	7	③FMジャングルによる情報提供	14
⑤連携パスの推進	7	④各構成市広報誌による情報提供	14
⑥高度かつ先進的な周産期医療の提供	7	⑤区長会他関係団体への情報提供（出前講座）	14
⑦（仮称）朝来医療センター建設による、医療資源の集約と 診療機能の強化	8	⑥朝来市ケーブルテレビにおける情報提供	14
⑧高度急性期から在宅医療まで切れ間ない医療提供	8	⑦5病院ネットワーク化	14
⑨その他（プランに記載のない取り組み）	8		

I 医師確保対策

具体的取組項目	27年度計画	27年度実績	自己 評価	委員会 評価																																
<p>① 医師修学資金貸与医学生の確保・定着促進</p> <p>医師を目指す但馬出身の医学生に修学資金を貸与することにより、将来的に公立豊岡病院組合で診療に従事する医師の確保を図る。</p>	<p>1 新規貸与者の確保 目標：毎年度3名程度</p> <p>2 医学部卒業生（修学資金制度利用者）を研修医として豊岡病院で受け入れる。</p> <p>3 修学資金貸与者（医学生）への働きかけ</p>	<p>1 新規貸与者数 4名</p> <p>2 研修開始医師数 2名（卒業生数2名）</p> <p>3 修学資金貸与医学生と交流する機会を設けた (1) エクスターンシップの開催（9名参加） (2) 医学生への訪問、面談の実施（4件実施）</p> <p>(参考) 年度末制度利用者数</p> <table border="1" data-bbox="1294 499 1861 821"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>医学生</th> <th>卒後</th> <th>卒業生</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年生</td> <td>4名</td> <td>1年目研修医</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>2年生</td> <td>3名</td> <td>2年目研修医</td> <td>5名</td> </tr> <tr> <td>3年生</td> <td>2名</td> <td>3年目専攻医</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>4年生</td> <td>1名</td> <td>4年目専攻医</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>5年生</td> <td>4名</td> <td>5年目専攻医</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>6年生</td> <td>2名</td> <td>6年目～</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>16名</td> <td>合計</td> <td>12名</td> </tr> </tbody> </table>	学年	医学生	卒後	卒業生	1年生	4名	1年目研修医	2名	2年生	3名	2年目研修医	5名	3年生	2名	3年目専攻医	1名	4年生	1名	4年目専攻医	2名	5年生	4名	5年目専攻医	1名	6年生	2名	6年目～	1名	合計	16名	合計	12名	○	
学年	医学生	卒後	卒業生																																	
1年生	4名	1年目研修医	2名																																	
2年生	3名	2年目研修医	5名																																	
3年生	2名	3年目専攻医	1名																																	
4年生	1名	4年目専攻医	2名																																	
5年生	4名	5年目専攻医	1名																																	
6年生	2名	6年目～	1名																																	
合計	16名	合計	12名																																	
<p>② 医師のキャリアアップ支援</p> <p>医師の定着を図るため、専門医資格の取得等、キャリアアップ支援を行う。</p>	<p>1 専門医、認定医、指導医の取得及び更新等に係る費用（受験料・旅費等）を助成</p> <p>2 医師が所属する学会年会費の助成を継続（1名あたり年間1学会まで。金額の上限なし）</p>	<p>1 制度利用者の推移 (単位：件、千円)</p> <table border="1" data-bbox="1274 946 1883 1150"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28. 11</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">取得・更新</td> <td>件数</td> <td>29</td> <td>28</td> <td>7</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>801</td> <td>410</td> <td>163</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">学会年会費</td> <td>件数</td> <td>60</td> <td>54</td> <td>14</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>576</td> <td>662</td> <td>458</td> <td>590</td> </tr> </tbody> </table> <p>(H27年度の減少理由) 制度の定着に伴い、文書や会議での説明機会が減少した。H28年度以降は、採用時のオリエンテーションで制度について説明し周知を図ることで、利用件数は増加している。</p>		項目	H25	H26	H27	H28. 11	取得・更新	件数	29	28	7	14	金額	801	410	163	500	学会年会費	件数	60	54	14	38	金額	576	662	458	590	△					
	項目	H25	H26	H27	H28. 11																															
取得・更新	件数	29	28	7	14																															
	金額	801	410	163	500																															
学会年会費	件数	60	54	14	38																															
	金額	576	662	458	590																															

具体的取組項目	27年度計画	27年度実績	自己評価	委員会評価																								
<p>③ 医師の業務軽減</p> <p>医師の労働環境を改善し、定着を図る。</p>	<p>1 入力作業や資料作成等を行う医師事務作業補助者（医療クラーク）を適正配置し、医師の業務負担軽減を図る。</p> <p>2 医療情報システムの改修による入力負担軽減・閲覧性の向上を図る。</p>	<p>1 医療クラークを適切に配置し、医師の業務負担軽減を継続（豊岡病院） H25：41人 → H26：38人 → H27：40人 （参考）H28：45人</p> <p>2 和田山医療センターにおいて、新病院で導入予定の医療情報システムの勉強会等を実施 （参考）朝来医療センター：医療クラーク7人配置</p>	○																									
<p>④ 業績に対する評価・報奨</p> <p>病院ごとに診療成績や患者サービスについて、財務評価と特別評価の二点により評価し、評価に応じた予算配分を行うことで、意欲を高め、定着を図る。</p>	<p>1 業績評価の基準を見直し、各病院の努力を評価に反映しやすい仕組み作りを行った。</p> <p>（従来の財務評価に加えて、新たな評価基準として特別評価を設けた。 ※ 配分額への適用はH28年度から）</p> <p>(1) 財務評価：前年度決算値（医業収支比率、病床利用率等）に基づき評価</p> <p>(2) 特別評価：多角的視点から成果があった取り組みに対する評価</p>	<p>1 業績評価に応じて予算（15,000千円）を各病院に配分した (27年度配分額) (単位：千円)</p> <table border="1" data-bbox="1317 564 1861 887"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>豊岡</td> <td>4,920</td> <td>4,920</td> </tr> <tr> <td>日高</td> <td>4,040</td> <td>2,070</td> </tr> <tr> <td>出石</td> <td>1,100</td> <td>4,770</td> </tr> <tr> <td>梁瀬</td> <td>990</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>和田山</td> <td>3,110</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>朝来</td> <td>—</td> <td>3,240</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>14,160</td> <td>15,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ H27 予算の残額（840千円）は次年度以降に繰越</p>		H27	H28	豊岡	4,920	4,920	日高	4,040	2,070	出石	1,100	4,770	梁瀬	990	—	和田山	3,110	—	朝来	—	3,240	合計	14,160	15,000	○	
	H27	H28																										
豊岡	4,920	4,920																										
日高	4,040	2,070																										
出石	1,100	4,770																										
梁瀬	990	—																										
和田山	3,110	—																										
朝来	—	3,240																										
合計	14,160	15,000																										
<p>⑤ テレビ会議システム等を活用した教育支援</p>	<p>1 テレビ会議システムによる合同テレカンファレンスの継続開催（尼崎総合医療センター、柏原病院、但馬地域の公立病院等）</p> <p>2 システム端末を追加設置し、遠隔教育ネットワークの充実を図る。</p>	<p>1 遠隔教育研修に活用した （合同カンファレンスの開催） H25：12回 → H26：12回 → H27：12回 （教育講演の開催） H26：10回 → H27：7回</p> <p>2 神戸大学、県立柏原病院、八鹿病院、村岡病院、香住病院、浜坂病院がテレビ会議システムに参加 （テレビ会議システム設置医療機関） H25：6施設 → H26：6施設 → H27：12施設 （端末台数） H25：6台 → H26：6台 → H27：20台</p>	○																									

具体的取組項目	27 年度計画	27 年度実績	自己 評価	委員会 評価																				
<p>⑥ 地域医療研修の受け入れ</p> <p>都市部の病院より地域医療研修医師を受け入れ、医師不足の解消を図るとともに就職先候補として豊岡病院組合の認知度を高める。</p>	<p>地域医療研修医を受け入れ、将来に向けた医師確保につなげる</p> <p>H25：尼崎病院・塚口病院（現尼崎総合医療センター）、大阪市立総合医療センターが参加</p> <p>H26：西宮病院が参加</p> <p>H27：神戸中央市民病院が参加</p>	<p>（地域医療研修受入実績）</p> <table border="1" data-bbox="1323 188 1821 389"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日高</td> <td>3人</td> <td>3人</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>出石</td> <td>3人</td> <td>3人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>梁瀬</td> <td>3人</td> <td>6人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>和田山</td> <td>0人</td> <td>4人</td> <td>6人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H27 年度は香住病院2名、村岡病院1名受け入れ</p>		H25	H26	H27	日高	3人	3人	7人	出石	3人	3人	2人	梁瀬	3人	6人	6人	和田山	0人	4人	6人	○	
	H25	H26	H27																					
日高	3人	3人	7人																					
出石	3人	3人	2人																					
梁瀬	3人	6人	6人																					
和田山	0人	4人	6人																					
<p>⑦ その他（プランに記載のない取り組み）</p>	<p>1 人材紹介業者と契約を締結し、医師が不足している診療科を中心に医師確保を図る（H26 年6月～契約中）</p> <p>2 見学希望者へ丁寧な対応を行う</p>	<p>1 紹介を受けた糖尿病内科医と契約成立（H28.4～常勤医師として勤務中）</p> <p>2 見学希望者は原則全員受け入れ（H27 53人）</p>	—																					

II 看護師確保対策

具体的取組項目	27年度計画	27年度実績	自己評価	委員会評価									
<p>① 奨学金貸与学生の確保</p> <p>但馬地域出身の看護職志望者へ奨学金を貸与し、将来に向けた看護師確保を図る。</p>	<p>1 新規貸与者の確保 27年度目標 30人</p> <p>2 近隣高校への周知 (1) 毎年1月～2月、5～6月に学校訪問し、看護系進学者への奨学金制度の周知を依頼 (2) 各校の看護系進学状況を把握</p>	<p>1 新規貸与者数：29人 (参考) 勤務開始看護師数：22人 年度末奨学金貸与学生：97人</p> <p>2 近隣高校への周知を実施した H27：17校</p>	○										
<p>② 院内保育所整備による離職防止と育児からの職場復帰支援</p> <p>院内保育所 (H26.11 開設) を設置し、育児による離職を防止する。</p>	<p>1 育児休業者との面談時に制度を説明するなど、職員への周知に努める</p> <p>2 育児短時間勤務制度の利用と合わせ、長期休業からの復帰支援と離職防止に活用</p> <p>3 大学医局へも院内保育所設置をアピールし、中堅医師の招聘策として活用</p>	<p>1 月極保育、病児保育ともに順調に利用者増加</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>月極(平均)</td> <td>13人</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>病児(延べ)</td> <td>16人</td> <td>40人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 育児短時間勤務による復帰支援を積極的に行った。</p>		H26	H27	月極(平均)	13人	17人	病児(延べ)	16人	40人	○	
	H26	H27											
月極(平均)	13人	17人											
病児(延べ)	16人	40人											
<p>③ テレビ会議システム等を活用した教育支援</p>	<p>1 看護師を含めた医療技術職の教育、研修に活用(委員会活動等での実施に向けて検討)</p>	<p>1 総看護師長会議で活用 (H27 実績：1回)</p>	△										
<p>④ 養成校訪問・広報などを活用した確保対策強化</p>	<p>1 組合に就職実績のある看護師養成校を訪問し、就職候補としてPRする。</p> <p>2 都市部での看護師就職フェアなどに出店し、但馬地域外での豊岡病院組合の認知度を高める。</p> <p>3 臨地実習受け入れ校の拡大について検討</p>	<p>1 看護師養成校へ積極的な訪問を実施(兵庫県内、鳥取、島根、岡山 30～40校)</p> <p>2 大阪市、神戸市、姫路市、岡山市、兵庫県立大学、兵庫医療大学でのフェアに参加</p> <p>3 臨地実習受け入れ実績 H27：2校 150人</p>	○										
<p>⑤ 出前講座などを活用した進学対策支援</p>	<p>1 但馬・丹後の高校に現役看護師が出向き、医療の現場について伝えることで、潜在的な看護師希望者(医療従事者)を増やし、将来的な職員確保につなげる。</p> <p>2 地域の高校生を対象とした、オープンホスピタルを開催し、看護の現場に触れることで看護師希望者の増加につなげるとともに就職先として豊岡病院組合をPRする。</p>	<p>1 但馬 6校、丹後 3校で実施</p> <p>2 オープンホスピタルを開催 (8/14) 参加校 7校、参加者 29人 ※上記以外の一般参加 奨学金貸与学生・看護学生等：46名</p>	○										

具体的取組項目	27年度計画	27年度実績	自己評価	委員会評価
⑤ 出前講座などを活用した進学対策支援		3 ふれあい看護体験の実施 (1) 豊岡：冬休みふれあい看護体験（12/24-25） 参加校 10校、参加者 44人 (2) 日高：ふれあい看護体験（7/22-8/1） 日高高校より9名参加 (3) 出石：ふれあい看護体験（8/3-4） 出石高校より3名参加 (4) 梁瀬：ふれあい看護体験（夏休） 和田山高校より参加 (5) 和田山：ふれあい看護体験（7/28-29） 生野高校、和田山高校、日高高校より12名参加	○	
⑥ 看護師の業務軽減	1 看護補助者（診療補助員）を適正に配置し、食事介助等の看護師負担を軽減する。 2 豊岡病院において計画的に看護補助者を配置し、看護補助体制加算の上位基準（50対1）取得を目指す	1 看護師の業務負担軽減のため、看護補助者及び介護員を適正に配置し、その確保に努めた。（豊岡病院） H27年度 看護補助者 14名 介護員 5名 2 急性期看護補助体制加算（75対1） 豊岡病院 H27.6～H27.10 取得 （参考）H28の状況 豊岡病院 H28年9月 再取得 朝来医療センター H28年10月 取得	○	
⑦ その他（プランに記載のない取り組み）	1 教育・研修支援の充実 (1) キャリア支援の一環として、看護師長、副看護師長等役職就任時には、職責に応じた能力を身に付けるためファースト、セカンドレベル等の長期研修受講を義務付ける。 (2) 計画的に認定看護師、専門看護師を育成し、適切に配置する。	1 役職者研修受講（H27は豊岡病院のみ） H27実績 ファーストレベル 2人 セカンドレベル 1人 2 認定看護師（H27は豊岡病院のみ） H27実績：2名育成 感染管理認定看護師 1人 乳がん認定看護師 1人 （参考）認定看護師数の推移（全病院） H25 15人 → H26 15人 → H27 17人 （参考）精神専門看護師1名（H22年～配置）	—	

Ⅲ 医療機能向上対策

具体的取組項目	27年度計画	27年度実績	自己評価	委員会評価																	
<p>① 病診連携・病病連携の強化促進</p> <p>病院と診療所(病院)が役割、機能を分担し、お互いに連携しながら、効率的・効果的な医療を提供する。</p>	<p>1 豊岡病院において、地域医療支援病院取得を目指す、紹介率・逆紹介率の向上に取り組む。</p> <p>2 病診連携・病病連携の前方支援として、医療機関からの依頼や問い合わせ等に迅速に対応する。</p>	<p>1 紹介率・逆紹介率の推移（豊岡病院）</p> <table border="1" data-bbox="1261 293 1881 496"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>※基準</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">紹介率</td> <td>① 65%</td> <td rowspan="2">41.1%</td> <td rowspan="2">43.6%</td> <td rowspan="2">46.0%</td> </tr> <tr> <td>② 40%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">逆紹介率</td> <td>① 40%</td> <td rowspan="2">41.3%</td> <td rowspan="2">45.0%</td> <td rowspan="2">58.0%</td> </tr> <tr> <td>② 70%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 基準：地域医療支援病院の取得要件。 （①または②の達成が必要）</p> <p>2 主な取組み（豊岡病院）</p> <p>(1) 病診連携協議会の開催：1回（7月）</p> <p>(2) 開業医への定期訪問：週3回訪問 （専任の病診連携推進員による訪問）</p> <p>(3) 医師会理事会への出席：豊岡病院長の出席</p> <p>(4) 病院診療情報誌（医療連携ニュース）の発行 H27実績8回発行（但馬・京丹後の医療機関へ配布） 診療科・病院からのお知らせ、行事・勉強会のお知らせ等掲載</p>	項目	※基準	H25	H26	H27	紹介率	① 65%	41.1%	43.6%	46.0%	② 40%	逆紹介率	① 40%	41.3%	45.0%	58.0%	② 70%	△	
項目	※基準	H25	H26	H27																	
紹介率	① 65%	41.1%	43.6%	46.0%																	
	② 40%																				
逆紹介率	① 40%	41.3%	45.0%	58.0%																	
	② 70%																				
<p>② 7対1看護の効率的な運営推進</p> <p>7対1看護基準の取得による手厚い看護体制を実現し、質の高い医療を提供する。</p>	<p>1 看護師確保対策に取り組み、各病棟に必要な看護師数を適正配置し、7対1入院基本料の取得（6月予定）と効率的な運営に努める。</p>	<p>1 H27年6月より7対1看護基準取得。</p> <p>採用試験を毎月実施し、必要看護師数の確保と配置に努めた。</p>	○																		
<p>③ DPCの効率的運用</p> <p>DPCの機能評価係数Ⅱの向上につながる施策を実施し、収入増を図る（豊岡病院）</p>	<p>1 DPC運用に関して、定期的に委員会を開催し、効率的な運用について意見交換を行い、随時運用方法を改善していく。</p> <p>2 医事委託業者等、専門知識を有する者からの客観的なアドバイスを受ける</p>	<p>1 DPC推進委員会の実施 （医師、看護師、医療技術、事務職員で構成） H27年度：3回開催</p>	○																		

具体的取組項目	27年度計画	27年度実績	自己評価	委員会評価																												
<p>④ クリニカルパスの推進</p> <p>クリニカルパスを活用し、医療提供プロセスの標準化を進め、医療の質向上を図る。</p>	<p>新規クリニカルパスの作成及び適用症例数の増加に取り組む。</p>	<p>1 登録済クリニカルパス数</p> <table border="1" data-bbox="1261 217 1879 419"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規パス数</td> <td>12件</td> <td>4件</td> <td>7件</td> </tr> <tr> <td>総パス数 ※</td> <td>121件</td> <td>125件</td> <td>124件</td> </tr> <tr> <td>実施件数(入)</td> <td>182件</td> <td>3,157件</td> <td>2,900件</td> </tr> <tr> <td>実施件数(外)</td> <td>3,356件</td> <td>4,284件</td> <td>4,086件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 眼科、耳鼻いんこう科等、使用しなくなったパスは随時整理するとともに、新規パスを作成・追加した(平成25年度の入院パスの実施件数が少ないのは、パスの整理、見直しによるもの)</p>		H25	H26	H27	新規パス数	12件	4件	7件	総パス数 ※	121件	125件	124件	実施件数(入)	182件	3,157件	2,900件	実施件数(外)	3,356件	4,284件	4,086件	○									
	H25	H26	H27																													
新規パス数	12件	4件	7件																													
総パス数 ※	121件	125件	124件																													
実施件数(入)	182件	3,157件	2,900件																													
実施件数(外)	3,356件	4,284件	4,086件																													
<p>⑤ 連携パスの推進</p> <p>医療連携体制に基づく地域完結型医療を実現するため、地域連携パスの活用を推進する(脳卒中・大腿骨頸部骨折・5大がん)</p>	<p>継続して地域連携パスの種類と適用症例数の増加に取り組む。</p>	<p>1 地域連携パス実施件数</p> <p>(1) 脳卒中</p> <table border="1" data-bbox="1261 671 1879 754"> <thead> <tr> <th>症例名</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>脳卒中</td> <td>46件</td> <td>35件</td> <td>28件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 5大がん(胃・肺・肝・大腸・乳)</p> <table border="1" data-bbox="1261 831 1879 1034"> <thead> <tr> <th>症例名</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>豊岡</td> <td>2件</td> <td>2件</td> <td>14件</td> </tr> <tr> <td>日高</td> <td>1件</td> <td>0件</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>出石</td> <td>4件</td> <td>2件</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>和田山</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>1件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 梁瀬医療センターは該当なし</p>	症例名	H25	H26	H27	脳卒中	46件	35件	28件	症例名	H25	H26	H27	豊岡	2件	2件	14件	日高	1件	0件	1件	出石	4件	2件	2件	和田山	0件	0件	1件	○	
症例名	H25	H26	H27																													
脳卒中	46件	35件	28件																													
症例名	H25	H26	H27																													
豊岡	2件	2件	14件																													
日高	1件	0件	1件																													
出石	4件	2件	2件																													
和田山	0件	0件	1件																													
<p>⑥ 高度かつ先進的な周産期医療の提供</p> <p>但馬地域の周産期医療の基幹病院として妊娠初期から分娩、乳幼児の成育まで一貫した高度専門医療を提供する(豊岡病院)</p>	<p>1 但馬地域において安心・安全なお産を提供する</p> <p>2 周産期医療の基幹病院として、産婦人科医師の獲得につとめるとともに、産科・小児科の医療技術・知識向上のための研修会等を開催する。</p>	<p>1 分娩件数の推移 H25 894件 → H26 880件 → H27 879件 (H27実績：周産期医療センター) 正常分娩 764件 異常分娩 115件(うち帝王切開 41件)</p> <p>※ H25年度～ 日高医療センター分娩取扱い休止 ※ H27年1月 こうのとり周産期医療センター開設</p> <p>2 産科・小児科関係研修会 H27：19回</p>	○																													

具体的取組項目	27年度計画	27年度実績	自己評価	委員会評価												
⑦ (仮称) 朝来医療センター建設による、医療資源の集約と診療機能の強化	1 朝来医療センター開院に向けた地域医療連携推進のための体制強化 (和田山医療センター)	1 新たに地域連携室を設置し、メディカルソーシャルワーカーを臨時職員から正規職員化し、体制強化を図った (和田山医療センター) (1) 開業医の FAX 予約 H26 : 0 件→H27(6月～):53 件 (2) CT 受託検査 H26 : 0 件→H27(8月～):5 件	○													
⑧ 高度急性期から在宅医療まで切れ間ない医療提供	1 組合内病院間で機能分担し、患者の病状の変化に応じて各病院で適切な医療を提供する。	1 県が主催する地域医療構想策定のための連絡会議等に参加し、但馬地域の中核医療機関として地域医療のあり方について提言した。	△													
⑨その他 (プランに記載のない取り組み)	1 リハビリテーションの充実 (1) 豊岡病院 : 入院患者の 365 日リハの実施 (2) 日高 MC : 訪問リハビリの充実 2 緩和ケア病棟の整備	1 リハビリテーションの充実に努めた (1) 豊岡病院 : 365 日リハに向けて土曜リハを開始 H26 : 祝日リハの開始 H27 : 土曜リハの開始 H28 : 日曜リハの開始 (365 日リハ開始) (2) 日高 : 訪問リハ取得単位数が増加した 訪問リハ単位数 <table border="1" data-bbox="1267 874 1872 995"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単位数</td> <td>1,810</td> <td>3,654</td> <td>4,104</td> </tr> <tr> <td>介護収益</td> <td>5,648 千円</td> <td>11,491 千円</td> <td>12,940 千円</td> </tr> </tbody> </table> 2 計画通り緩和ケア病棟を整備した H28.4 より 20 床で開設		H25	H26	H27	単位数	1,810	3,654	4,104	介護収益	5,648 千円	11,491 千円	12,940 千円	—	
	H25	H26	H27													
単位数	1,810	3,654	4,104													
介護収益	5,648 千円	11,491 千円	12,940 千円													

IV 経営意識向上対策

具体的取組項目	27年度計画	27年度実績	自己評価	委員会評価
① 経営意識向上を目的としたセミナー等の開催	1 マネジメントセミナーを開催し、職員の経営意識向上を図る 2 病院経営に関する専門知識を有した事務職員の育成	1 病院職員が講師となり、マネジメントセミナーを開催し、職員の経営意識の向上を図った。 H27実績 4回（参加者 158名） 2 病院経営管理士 1名養成	○	
② 経営状況の「見える化」と職員間の更なる情報共有	1 病院長会議、事務長会議において、経営状況を分析し、病院間での情報共有を図る。	1 計画どおり実施 (参考) H28年度より決算・当初予算等作成時に、各病院管理会議、職種別会議等で経営状況について情報提供を実施。	△	
③ BSCを活用した経営意識の向上 BSC（バランストスコアカード）を活用して経営戦略の共有化と実行管理を行う。	1 BSCを導入し、各部門、職員の経営参画意識の向上を図る。	1 各病院でBSC進捗管理票を取りまとめ、事務長会議で報告した。 (参考) H28年度より部門ごとに部署別行動計画を作成し、目標達成のための業務管理に活用している。	△	

V 収入向上対策

具体的取組項目	27年度計画	27年度実績	自己評価	委員会評価																																												
① 7対1入院基本料の取得（豊岡病院）	1 6月取得予定	1 計画どおり6月取得 H27 効果額：301,351千円（6～3月） 〔効果額は単価の増に患者数を乗じたもの。〕 〔給与費・材料費等の諸費用は考慮せず。〕	○																																													
② 新たな施設基準の取得 診療報酬上有利となる施設基準を取得し、収益の向上を図る	1 下記の施設基準を取得する <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>施設基準名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">豊岡</td> <td>急性期看護補助体制加算4（75:1）</td> </tr> <tr> <td>精神科急性期治療病棟入院料Ⅰ・医師配置加算</td> </tr> <tr> <td>日高</td> <td>ロービジョン検査判断料</td> </tr> <tr> <td>出・和</td> <td>感染防止対策加算Ⅱ</td> </tr> <tr> <td>梁瀬</td> <td>救急医療管理加算</td> </tr> <tr> <td>梁瀬・和田山</td> <td>介護支援連携指導料</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">和田山</td> <td>感染防止対策加算Ⅱ</td> </tr> <tr> <td>癌性疼痛緩和指導管理料</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	施設基準名称	豊岡	急性期看護補助体制加算4（75:1）	精神科急性期治療病棟入院料Ⅰ・医師配置加算	日高	ロービジョン検査判断料	出・和	感染防止対策加算Ⅱ	梁瀬	救急医療管理加算	梁瀬・和田山	介護支援連携指導料	和田山	感染防止対策加算Ⅱ	癌性疼痛緩和指導管理料	1 計画どおり取得 左記施設基準によるH27年度効果額 豊岡：69,524千円/年 日高：30千円/年 出石：501千円/年 梁瀬：568千円/年 和田山：698千円/年 〔効果額は単価の増に患者数を乗じたもの。〕 〔給与費・材料費等の諸費用は考慮せず。〕	○																													
病院名	施設基準名称																																															
豊岡	急性期看護補助体制加算4（75:1）																																															
	精神科急性期治療病棟入院料Ⅰ・医師配置加算																																															
日高	ロービジョン検査判断料																																															
出・和	感染防止対策加算Ⅱ																																															
梁瀬	救急医療管理加算																																															
梁瀬・和田山	介護支援連携指導料																																															
和田山	感染防止対策加算Ⅱ																																															
	癌性疼痛緩和指導管理料																																															
③ DPC機能評価係数Ⅱの向上 DPC機能評価係数Ⅱの向上につながる施策を実施し、収入増を図る。	1 DPC機能評価係数Ⅱの向上につながる効率性指数（平均在院日数の短縮）と後発薬品係数（後発医薬品の採用）の増加を図る	1 DPC機能評価係数の推移 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>係数</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28 参考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>データ提出指数</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>保険診療</td> <td>0.00731</td> <td>0.00730</td> <td>0.00806</td> </tr> <tr> <td>効率性指数</td> <td>0.00785</td> <td>0.00645</td> <td>0.00712</td> </tr> <tr> <td>複雑性指数</td> <td>0.00863</td> <td>0.01019</td> <td>0.01102</td> </tr> <tr> <td>カバー率指数</td> <td>0.00764</td> <td>0.00785</td> <td>0.01026</td> </tr> <tr> <td>救急医療</td> <td>0.01054</td> <td>0.01291</td> <td>0.01476</td> </tr> <tr> <td>地域医療指数</td> <td>0.01626</td> <td>0.01609</td> <td>0.01878</td> </tr> <tr> <td>後発医薬品</td> <td>0.00360</td> <td>0.00316</td> <td>0.00958</td> </tr> <tr> <td>重症度係数</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0.00421</td> </tr> <tr> <td>機能評価係数Ⅱ（計）</td> <td>0.06183</td> <td>0.06395</td> <td>0.08379</td> </tr> </tbody> </table> 係数向上による効果額 H26→H27（+0.00212）：5,999千円/年 （参考）H27→H28（+0.01984）：約58,300千円/年	係数	H26	H27	H28 参考	データ提出指数	—	—	—	保険診療	0.00731	0.00730	0.00806	効率性指数	0.00785	0.00645	0.00712	複雑性指数	0.00863	0.01019	0.01102	カバー率指数	0.00764	0.00785	0.01026	救急医療	0.01054	0.01291	0.01476	地域医療指数	0.01626	0.01609	0.01878	後発医薬品	0.00360	0.00316	0.00958	重症度係数	—	—	0.00421	機能評価係数Ⅱ（計）	0.06183	0.06395	0.08379	○	
係数	H26	H27	H28 参考																																													
データ提出指数	—	—	—																																													
保険診療	0.00731	0.00730	0.00806																																													
効率性指数	0.00785	0.00645	0.00712																																													
複雑性指数	0.00863	0.01019	0.01102																																													
カバー率指数	0.00764	0.00785	0.01026																																													
救急医療	0.01054	0.01291	0.01476																																													
地域医療指数	0.01626	0.01609	0.01878																																													
後発医薬品	0.00360	0.00316	0.00958																																													
重症度係数	—	—	0.00421																																													
機能評価係数Ⅱ（計）	0.06183	0.06395	0.08379																																													

具体的取組項目	27 年度計画	27 年度実績	自己 評価	委員会 評価																
<p>③ DPC機能評価係数Ⅱの向上</p>		<p>2 平均在院日数（豊岡病院 ※ 精神科を除く） H25：13.7日 → H26：14.8日 → H27：14.3日</p> <p>3 後発医薬品採用件数・割合（豊岡）</p> <table border="1" data-bbox="1263 312 1854 432"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27.5</th> <th>H27.9</th> <th>H28.1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>品目数</td> <td>95,769件</td> <td>104,095件</td> <td>102,579件</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>67.79%</td> <td>74.06%</td> <td>74.97%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(参考) 国の後発医薬品割合目標 H29 70% → H30-32 80%</p>		H27.5	H27.9	H28.1	品目数	95,769件	104,095件	102,579件	割合	67.79%	74.06%	74.97%	○					
	H27.5	H27.9	H28.1																	
品目数	95,769件	104,095件	102,579件																	
割合	67.79%	74.06%	74.97%																	
<p>④ 未収金の発生率の抑制及び未収金の回収率の向上</p> <p>未収金の発生の抑制と回収強化により、収益を確保する</p>	<p>1 未収金発生時からすみやかに回収に着手し、焦げ付き未収金（発生から1年超）の発生を防止する。</p> <p>2 自主回収困難債権は、弁護士事務所への委託による回収を行い、不納欠損処理額の減額に努める。</p>	<p>1 未収金防止・回収マニュアルに基づき、早期回収の取組を継続 (豊岡病院：H17年7月～未収金回収専従職員を配置)</p> <p>2 債権発生から2カ月以上経過し、自主回収が困難と判断した債権は、弁護士事務所へ回収を委託。</p> <p style="text-align: right;">(単位：千円)</p> <table border="1" data-bbox="1263 791 1868 1031"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>未収金発生率</td> <td>1.1%</td> <td>1.4%</td> <td>1.3%</td> </tr> <tr> <td>焦付未収金発生額</td> <td>3,127</td> <td>1,838</td> <td>682</td> </tr> <tr> <td>回収額 (委託額)</td> <td>250 (3,486)</td> <td>891 (4,100)</td> <td>899 (6,232)</td> </tr> </tbody> </table> <p>未収金発生率＝新規発生未収金÷医業収益</p>		H25	H26	H27	未収金発生率	1.1%	1.4%	1.3%	焦付未収金発生額	3,127	1,838	682	回収額 (委託額)	250 (3,486)	891 (4,100)	899 (6,232)	○	
	H25	H26	H27																	
未収金発生率	1.1%	1.4%	1.3%																	
焦付未収金発生額	3,127	1,838	682																	
回収額 (委託額)	250 (3,486)	891 (4,100)	899 (6,232)																	

具体的取組項目	27年度計画	27年度実績	自己評価	委員会評価																
<p>⑤ 遊休不動産の売却</p> <p>不要な不動産を売却し、資金を確保する。</p>	<p>1 豊岡市千代田町物件（土地）、大磯町物件（土地・建物）の2物件を売却し、資産を確保する</p>	<p>1 院内掲示、広報誌(ほすびたる)への掲載等、売却先を公募したが、希望者がなく売却できず</p> <table border="1" data-bbox="1256 288 1861 411"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>売却件数</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>売却金額</td> <td>3,643万円</td> <td>4,550万円</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		H25	H26	H27	売却件数	5	1	0	売却金額	3,643万円	4,550万円	0	×					
	H25	H26	H27																	
売却件数	5	1	0																	
売却金額	3,643万円	4,550万円	0																	
<p>⑥ 目的外使用許可制度の活用による収益確保</p>	<p>1 行政財産使用料の適正な算定と徴収に努める</p> <p>2 有料広告の募集</p>	<p>1 行政財産目的外使用料の推移（単位：千円） H25：20,743 → H26：25,264 → H27：27,523</p> <p>※ H26～27年度に自動販売機設置手数料の見直しを実施し、売り上げに応じた手数料へ算定方法を変更したことから、収入が増加した。</p> <p>2 広報誌（ほすびたる）への広告掲載を継続した（ホームページ掲載広告は募集中だが応募なし） （単位：千円）</p> <table border="1" data-bbox="1256 786 1861 948"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広報誌</td> <td>151</td> <td>208</td> <td>227</td> </tr> <tr> <td>ホームページ</td> <td>268</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>419</td> <td>208</td> <td>227</td> </tr> </tbody> </table>		H25	H26	H27	広報誌	151	208	227	ホームページ	268	0	0	合計	419	208	227	○	
	H25	H26	H27																	
広報誌	151	208	227																	
ホームページ	268	0	0																	
合計	419	208	227																	

VI 経費削減対策

具体的取組項目	27年度計画	27年度実績	自己評価	委員会評価																
① 委託内容の見直しと業務委託の推進 業務内容を見直し、適切な委託化を行うことで経費を削減するとともに、業務効率を向上させる。	1 医療機器入札について外部コンサルタントの導入により複数機器の一括購入を実施し、機器購入費用の削減を図る。 2 日高医療センターあり方検討について、専門知識と経験を有した外部コンサルタントを導入し、適切な進行管理を行う。	1 CT、検査機器の購入等において費用削減効果があった (単位：千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>最終見積</th> <th>落札額</th> <th>差額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療機器</td> <td>1,035,940</td> <td>989,346</td> <td>△46,594</td> </tr> <tr> <td>検査機器</td> <td>294,053</td> <td>198,338</td> <td>△95,715</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,329,993</td> <td>1,187,684</td> <td>△142,309</td> </tr> </tbody> </table> 2 日高医療センターあり方検討委員会開催 第1回：2/27、第2回：3/28	項目	最終見積	落札額	差額	医療機器	1,035,940	989,346	△46,594	検査機器	294,053	198,338	△95,715	合計	1,329,993	1,187,684	△142,309	○	
項目	最終見積	落札額	差額																	
医療機器	1,035,940	989,346	△46,594																	
検査機器	294,053	198,338	△95,715																	
合計	1,329,993	1,187,684	△142,309																	
② 同種同効品への切り替え等による経費削減	1 血糖測定器の切り替え（豊岡病院）	1 患者への説明等、各部門の協力を得て実施 効果額：△2,578千円（H26実績比） H27.11より切り替え開始	○																	
③ 委託化等の推進による適正な人員配置	1 梁瀬医療センターの医事業務を委託化し、給与費の削減と効率的な業務処理を可能にする。	1 計画通り実施（H27.4～） 正規職員2名、臨時職員3名の業務を委託化	○																	
④ 後発薬品の使用率の向上促進	1 DPC適用病院（豊岡病院）において、後発薬品の使用割合を増加する	3 後発医薬品採用件数・割合（豊岡）【P11再掲】 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H27.5</th> <th>H27.9</th> <th>H28.1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>品目数</td> <td>95,769件</td> <td>104,095件</td> <td>102,579件</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>67.79%</td> <td>74.06%</td> <td>74.97%</td> </tr> </tbody> </table> (参考) 国の後発医薬品割合目標 H29 70% → H30-32 80%		H27.5	H27.9	H28.1	品目数	95,769件	104,095件	102,579件	割合	67.79%	74.06%	74.97%	○					
	H27.5	H27.9	H28.1																	
品目数	95,769件	104,095件	102,579件																	
割合	67.79%	74.06%	74.97%																	
⑤ その他（プランに記載のない取り組み）	1 薬品の組合一括契約・値引き交渉の継続	1 薬品値引き率の推移 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上期</td> <td>14.53%</td> <td>15.4%</td> </tr> <tr> <td>下期</td> <td>14.96%</td> <td>15.6%</td> </tr> </tbody> </table> (参考) H28年度の取組み (1) 薬品の採用・情報管理担当の薬剤師を加え、薬品情報の視点も交え単価交渉を行っている。 (2) 卸との交渉だけでなく、製薬会社とのヒアリングを行い、多角的に価格交渉を行っている。		H26	H27	上期	14.53%	15.4%	下期	14.96%	15.6%	—								
	H26	H27																		
上期	14.53%	15.4%																		
下期	14.96%	15.6%																		

VII 広報及び連携対策

具体的取組項目	27年度計画	27年度実績	自己評価	委員会評価
① ホームページの充実 病院組合の情報提供の一環として、ホームページの充実を図る。	1 随時適切な更新を行い情報発信に努める	1 診療担当表の変更、休診のお知らせ、職員採用情報など、適宜ページを更新し情報発信を行った。 (参考) H28年度中にスマートフォン対応予定	○	
② 「ほすびたる」による積極的な情報提供	1 広報誌「ほすびたる」を活用し、地域住民への情報発信を行う	1 隔月(奇数月)発行し、診療情報や職員採用、組合内のトピックスについて、住民への情報発信を行い、地域から信頼され親しみを持たれる病院作りにつとめた。 2 H27年度より編集会議を開催し、多くの視点で紙面編集を行うようにした。	○	
③ FMジャングルによる情報提供	1 FMジャングルを活用し、地域住民への情報発信を行う	1 病院祭の事前告知を行った	○	
④ 各構成市広報誌による情報提供	1 職員採用の告知に活用	1 職員採用の告知に活用した (豊岡5回、朝来市4回) 2 看護師等奨学金募集の告知に活用した (豊岡市、朝来市 各1回)	○	
⑤ 区長会他関係団体への情報提供 (出前講座)	1 朝来医療センターに関する情報提供に活用	1 朝来医療センター建設に伴う、意見交換、情報提供等に活用した。	○	
⑥ 朝来市ケーブルテレビにおける情報提供	1 朝来医療センターに関する情報提供に活用	1 建設途中の新病院について地域住民に情報提供した	○	
⑦ 5病院ネットワーク化	1 病院長会議、事務長会議、職種別所属長会議等で病院間の情報共有を行い、組合内の連携を強化。	1 計画通り実施した	△	